

国内外で高い評価を受ける作家の代表作の中から、  
飛鳥の地にふさわしい作品を特別展示。  
会場の天井に描かれた星宿天文図の世界観  
とのコラボレーションも、お楽しみください。  
古代中国を題材にした作品や、  
初公開の新作もごさいます。

【入場無料】

# 飛鳥コスモロジー

〜切り絵作家・望月めぐみの宝石箱より〜

期間

2023年

11月14日(火)〜30日(木)

9時30分〜17時00分

会場

国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区

キトラ古墳壁画体験館「四神の館」内

奈良県高市郡明日香村大字阿都山67

キトラ古墳  
壁画発見40周年  
来館記念プレゼント

「四神の館」受付で、  
望月めぐみさんの新作の  
ポストカードをお1人1枚  
進呈いたします。  
(無くなり次第終了)

【アクセス】近鉄壱阪山駅より徒歩15分

主催:国営飛鳥歴史公園 共催:奈良新聞社

【お問い合わせ先】国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター

☎0744-54-2441 [電話受付時間] 9時~17時



公園ホームページ



# 望月めぐみ／切り絵作家

Megumi Mochizuki / Papercutting Artist

1978年神奈川県横浜市生まれ。2013年以降は京都市在住。

東京学芸大学教育学部美術工芸専攻在籍中の2002年より、切り絵作家として活動開始。

一枚の紙を刻んで生まれる切り絵特有の緊張感のある透過美を活かし、

寺院や茶室といった伝統建築における大型のインスタレーション作品を多く手掛ける。

テーマは古今東西の神話や思想。京都を拠点に歴史遺産に学び、

人間の普遍の精神性を現代作品として再創出する。

また、素材への関心から国内外の紙漉きの取材を続けている。

京都伝統工芸大学校和紙工芸専攻非常勤講師。スイス切り絵協会会員。

著書「平安絵巻の素敵な切り絵」(PHP研究所)。



## 展示歴

2023 個展「祈り咲く空」,富士川・切り絵の森美術館,山梨

2023 明日香の匠展,奈良県立万葉文化館,奈良

2022 Schweizerische Scherenschnitt Ausstellung,Hans Erni Museum,スイス

2022 国際切り絵トリエンナーレ2022,富士川・切り絵の森美術館,山梨

2020 個展「透かし見る雪舟」,雪舟画室雲谷庵跡,山口

2020 MATERIAL INCIDENT,Dual Gallery,スペイン

2018 Season4 Residency Artists Exhibition,台北国際芸術村,台湾

2017 個展「光ヲ彫ル」白沙村莊橋本関雪記念館,京都

2017 飛鳥光の回廊 飛鳥大仏コラボレーション,飛鳥寺,奈良

2016 飛鳥アートヴィレッジ,犬養万葉記念館,奈良



## 「現代の切り絵と伝承切り紙 -紙に刻まれる普遍の精神-」

切り絵が持つ、一枚の紙を刀で刻んだ透かし彫りの造形の儚さ、そこから生じる緊張感、紙の白さに清浄と神聖さを見出してきた日本人の感覚と響き合う。

切り紙の歴史は古く、中国大陸から日本に伝わり、正倉院宝物にも唐時代の遺物が残る。その後各地に広まり、神楽などの宗教儀式や七夕などの年中行事において、空間を荘厳し特別な時間を演出する民間芸術として、現在まで生活の傍らに存在し続けてきた。

かつて私は、これらの伝承切り紙と自身の切り絵の制作が関連するものとは考えていなかった。

しかし、人々の願いや目に見えない存在への祈りを紙を切り抜くことで有

形化してきた伝承切り紙と、形を持たないものを目に見える作品として創出しようとする自身の試みは、動機や目的において多くの面で重なり合っている。

この自覚を得たことで、自身の創作が作家個人の表現であるだけでなく、伝承切り紙に折り重なるように息づき、その精神を現代作品として再創出する行為であると認識するに至った。

人々の願いや祈りの心が生み出してきた民俗文化や宗教芸術に学びながら、その表面上の形象にとどまらず、これらの遺産が内包する人間の普遍の精神性をも混える作品を目指し、創作を積み重ねている。



※掲載画像は過去の展示会の様子です